



2020 年 7 月 31 日

2020 年度 第 2 四半期 決算レポート

1-6 月累計実績（対 2019 年）

- ・ 売上収益は 2.7%減の 1 兆 302 億円
 - 4-6 月期を中心に発現した新型コロナウイルス感染拡大による影響は▲350 億円程度（3%強）
- ・ 為替一定調整後営業利益は、7.5%増の 3,093 億円
- ・ 財務報告ベースの調整後営業利益は、同水準の 2,876 億円
- ・ 営業利益は、19.1%減の 2,520 億円
- ・ 親会社の所有者に帰属する四半期利益は、23.8%減の 1,725 億円
- ・ 一株当たり中間配当金は 77 円

2020 年今回見込（対当初見込）

- ・ 上期実績、新型コロナウイルス感染拡大の影響、為替前提の見直し等を反映し通期見込を修正
- ・ 全社為替一定調整後営業利益については、▲70 億円の修正
- ・ 財務報告ベースの調整後営業利益（▲460 億円）・営業利益（▲490 億円）・親会社の所有者に帰属する当期利益（▲190 億円）は、為替のネガティブ影響拡大を主因に下方修正
- ・ 一株当たりの年間配当金予想は 154 円に変更なし

財務数値の詳細については P.18「データシート」を参照ください。

代表取締役社長 寺畠 正道 CEO コメント:

“新型コロナウイルス感染拡大の影響が継続する中、JT グループは引き続き従業員、ステークホルダーの皆様の安全を最優先するとともに、我々が事業を展開する地域のコミュニティへの支援の取り組みを広げていきます。

2020 年上期、たばこ産業も、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けましたが、JT グループの業績は底堅いものでした。事業モメンタムは堅調なものであり、海外たばこ事業における単価上昇効果に牽引され、為替一定ベースでの着実な利益成長を実現することができました。

通期の業績予想については、足元の状況、事業環境、為替のネガティブ影響の拡大等も踏まえ、現時点で最も妥当と考えられる前提に基づき修正しております。新型コロナウイルス感染拡大によるトップラインへの影響はあるものの、堅調な事業モメンタムが継続するものと考えています。

不確実性の高い状況が継続し注視が必要ですが、引き続き、お客様ニーズや消費動向の変化をはじめとした環境の変化に柔軟かつ迅速に対応してまいります。”

投資家説明会

投資家説明会（電話会議）は、2020年7月31日、東京時間 17時00分より日本語のみで行います。

投資家説明会資料等については、JTウェブサイトからご覧になれます。<https://www.jti.co.jp/investors/index.html>

(このページは空白です)

2020 年度 第 2 四半期 全社及び事業別実績

全社実績

(億円)	2019 年 4-6 月	2020 年 4-6 月	増減率	2019 年 1-6 月	2020 年 1-6 月	増減率
売上収益	5,531	5,106	-7.7%	10,585	10,302	-2.7%
調整後営業利益	1,490	1,408	-5.5%	2,878	2,876	-0.1%
営業利益	1,287	1,230	-4.4%	3,113	2,520	-19.1%
四半期利益（親会社所有者帰属）	1,056	861	-18.5%	2,265	1,725	-23.8%
為替一定ベース 調整後営業利益	1,490	1,511	+1.4%	2,878	3,093	+7.5%

2020 年 4-6 月

・ 売上収益

緊急事態宣言の発令に伴う外出自粛等の影響も受けた国内たばこ事業及び加工食品事業における減収に加え、医薬事業においても減収となったこと、海外たばこ事業についてもモメンタムが堅調に推移したものの新型コロナウイルス感染拡大の影響及び為替のネガティブ影響を相殺するに至らなかったことから、前年同期比 7.7%減収の 5,106 億円となりました。

・ 調整後営業利益

為替一定ベースの調整後営業利益については、国内たばこ事業・加工食品事業における減少はあったものの、海外たばこ事業において、顕著なプライシング効果により増加となったこと及び医薬事業での増加が上回り、前年同期比 1.4%増となる 1,511 億円となりました。
一方、財務報告ベースでは、海外たばこ事業においてネガティブな為替影響を受けたことにより、前年同期比 5.5%減となる 1,408 億円となりました。

・ 営業利益

営業利益については、調整後営業利益の減少を、前年同期に計上した鳥居薬品の事業構造改革費用の剥落が一部相殺し、前年同期比 4.4%減の 1,230 億円となりました。

・ 親会社の所有者に帰属する四半期利益

四半期利益は前年同期に一時的に低下していた税負担率との不利な比較による税負担額増加、及び金融損益の悪化に伴い前年同期比 18.5%減の 861 億円となりました。

2020 年 1-6 月

・ 売上収益

緊急事態宣言の発令に伴う外出自粛等の影響も受けた国内たばこ事業及び加工食品事業における減収に加え、医薬事業においても減収となり、海外たばこ事業での増収が一部相殺したものの、前年同期比 2.7%減の 1 兆 302 億円となりました。なお、4-6 月期を中心に発現した新型コロナウイルス感染拡大による影響は売上収益の 3%強となる▲350 億円程度と見立てています。

・ 調整後営業利益

為替一定ベースの調整後営業利益については、プライシング効果が上期に強めに発現した海外たばこ事業及び医薬事業における増加が、新型コロナウイルス感染拡大の影響も受けた国内たばこ事業及び加工食品事業での減少を上回り、前年同期比 7.5%の増加となる 3,093 億円となりました。
財務報告ベースにおいては、海外たばこ事業におけるネガティブな為替影響を顕著なパフォーマンスが相殺し、前年同期比同水準の 2,876 億円となりました。

- **営業利益**

営業利益は、2019 年度に発生した医薬の一時金収入がなくなったことを主因に、前年同期比 19.1%減の 2,520 億円となりました。

- **親会社の所有者に帰属する四半期利益**

四半期利益は、営業利益の減少及び金融損益の悪化等により前年同期比 23.8%減となる 1,725 億円となりました。

事業別実績

海外たばこ事業

(億本、億円)	2019年 4-6月	2020年 4-6月	増減率	2019年 1-6月	2020年 1-6月	増減率
総販売数量	1,178	1,078	-8.5%	2,225	2,119	-4.8%
GFB 販売数量	719	688	-4.4%	1,363	1,363	-0.0%
自社たばこ製品売上収益	3,207	3,140	-2.1%	6,075	6,261	+3.1%
調整後営業利益	962	1,103	+14.6%	1,854	2,143	+15.6%
参考：ドルベース（百万ドル）						
自社たばこ製品売上収益	2,919	2,918	-0.0% (+5.4%)*	5,520	5,784	+4.8% (+9.5%)*
調整後営業利益	876	1,025	+17.0% (+25.3%)*	1,685	1,980	+17.6% (+27.3%)*

*為替一定ドルベース 対前年同期増減率

2020年4-6月

• 販売数量及び市場シェア

主にバングラデシュやトルコにおいて前年同期と比べ販売数量が減少したことに加え、渡航者数の減少による免税販売やスペイン等の市場への影響、ロシア等複数市場における総需要減少、ネガティブに作用した流通在庫調整により、総販売数量は、前年同期比 8.5%の減少となりました。なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響は、免税ビジネス及び一部新興市場での総需要への影響等により、数量に対してネガティブに作用しています。流通在庫調整影響を除いた総販売数量は、前年同期比 7.6%減となっています。GFB 販売数量は、前年同期比 4.4%減となりました。3ヵ月平均市場シェアについてはオーストリア・カナダ・チェコ・フランス・ドイツ・ハンガリー・イラン・イタリア・カザフスタン・マレーシア・ポーランド・ルーマニア・スペイン・台湾・英国といった市場で伸長を確認しています。

• 自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益

自社たばこ製品売上収益は、単価上昇効果があったものの、ネガティブな為替影響を受けたことにより、前年同期比 2.1%減となりました。一方、調整後営業利益は、単価上昇効果の発現により、前年同期比 14.6%増となりました。なお、コストの増加幅は対前四半期では大幅に減少しております。

ドルベースの自社たばこ製品売上収益は、ネガティブな数量差影響▲111 百万ドル及びネガティブな為替影響▲159 百万ドルがあったものの、カナダ・インドネシア・イラン・フィリピン・ロシア・トルコ等において力強く発現した単価上昇効果+269 百万ドルが相殺し、前年同期とほぼ同水準となりました。ネガティブな為替影響を除いた場合では 5.4%の増加となっています。調整後営業利益については、単価上昇効果+270 百万ドルが、ネガティブな数量差影響▲32 百万ドルを上回った結果、前年同期比 17.0%の増加となりました。IRR、RUB、TRY を主因としたネガティブな為替影響▲73 百万ドルを除いた場合では前年同期比 25.3%の増加となりました。

2020年1-6月

• 販売数量及び市場シェア¹

総販売数量は、主にバングラデシュやトルコにおいて前年同期と比べ販売数量が減少したことに加え、渡航者数の減少による免税販売への影響、ロシア等複数市場における総需要減少により、前年同期比で 4.8%の減少となりました。なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響は、免税ビジネス及び一部新興市場での総需要への影響等により、数量に対してネガティブに作用しています。ポジティブに作用した流通在庫調整影響を除いた総販売数量は、前年同期比で、5.2%の減少となりました。GFB 販売数量は、ウィンストン（+1.4%）とLD（+2.7%）のパフォー

マンスが堅調に推移し、前年同期と同水準となりました。市場シェアは、オーストリア・ベルギー・カナダ・チェコ・フランス・ドイツ・ハンガリー・イラン・イタリア・カザフスタン・マレーシア・ポーランド・ルーマニア・スペイン・台湾・英国等の様々な市場で継続的に伸長しました。

- **自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益**

自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益は、単価上昇効果がネガティブな数量差影響及び為替影響を上回った結果、それぞれ前年同期比3.1%増、15.6%増となりました。
新型コロナウイルス感染拡大による自社たばこ製品売上収益への影響は、▲200億円程度と見立てております。

ドルベースの自社たばこ製品売上収益は、ネガティブな数量差影響▲49百万ドル及びネガティブな為替影響▲261百万ドルがあったものの、イラン・フィリピン・ルーマニア・ロシア・トルコ等において力強く発現した単価上昇効果+574百万ドルにより、前年同期比 4.8%の増加となりました。ネガティブな為替影響を除いた場合は、自社たばこ製品売上収益は前年同期比 9.5%の増加となっています。調整後営業利益は、単価上昇効果+569百万ドル及びポジティブな数量効果+17百万ドルにより、前年同期比 17.6%増加しました。IRR、RUB、TRY を主因としたネガティブな為替影響▲164百万ドルを除いた場合は、前年同期比 27.3%の増加となりました。

海外たばこ事業 クラスター別 四半期実績

South and West Europe

(億本, 百万ドル)	2019 年 4-6 月	2020 年 4-6 月	増減率
総販売数量	167	163	-2.2%
GFB 販売数量	134	137	+2.2%
自社たばこ製品売上収益	520	493	-5.2% (-4.1%)*

*為替一定ドルベース 対前年同期増減率

- **販売数量及び市場シェア¹**

総販売数量は、総需要の減少及びネガティブに作用した流通在庫調整により、前年同期比で 2.2%の減少となりました。GFB 販売数量は GFB の市場シェア伸長により、2.2%増加し、流通在庫調整の影響を除いた総販売数量は、前年同期比で 0.5%の増加となりました。市場シェアはベルギー・フランス・ギリシャ・イタリア・ルクセンブルグ・オランダ・スペイン・スイスにおいて伸長しました。

- **自社たばこ製品売上収益**

自社たばこ製品売上収益は、イタリア及びスペインを中心に発現したネガティブな数量差影響▲21百万ドルにより、前年同期比 5.2%の減少となりました。ネガティブな為替影響▲6百万ドルを除いた場合は前年同期比 4.1%の減少となっています。

- **市場別実績**

フランスにおける総販売数量、GFB 販売数量及び Fine cut の販売数量は、総需要の増加及びウinstonとキャメルの3ヵ月平均市場シェアの伸長により、前年同期比でそれぞれ 20.9%、26.2%、38.3%の増加となりました。為替一定自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな数量効果及び単価上昇効果により、前年同期と比べ増加しました。1-6 月期の累計総販売数量、GFB 販売数量、Fine cut の販売数量は前年同期比でそれぞれ、13.5%、16.0%、25.3%増加しました。市場シェアは GFB が牽引し、前年同期と比べ 1.6 パーセントポイント増の 25.2%となりました。

イタリアにおける総販売数量及び GFB 販売数量は、総需要の減少及びネガティブに作用した流通在庫調整により、前年同期比でそれぞれ 7.6%の減少となっています。流通在庫調整の影響を除いた場合の総販売数量は、3ヵ

月平均市場シェアは伸長したものの、前年同期比 3.0%の減少となりました。Fine cut の販売数量は前年同期比 2.4%の増加となりました。為替一定自社たばこ製品売上収益はネガティブな数量差影響及び単価差影響により、前年同期と比べ減少しました。1-6 月期の累計総販売数量、GFB 販売数量及び Fine Cut の販売数量はそれぞれ前年同期比 1.3%、2.4%、14.5%増加しました。市場シェアはウINSTONの伸長により前年同期と比べ 0.7 パーセントポイント増加し 24.9%となっています。

スペインにおける総販売数量及び GFB 販売数量は、渡航者数の減少による総需要の減少及びネガティブに作用した流通在庫調整により、前年同期比でそれぞれ 18.3%、11.0%の減少となりました。流通在庫調整の影響を除いた場合の総販売数量は、市場シェアの伸長はあったものの、前年同期比 11.7%減少しました。Fine cut の販売数量は前年同期比 2.4%の増加となりました。為替一定自社たばこ製品売上収益はネガティブな数量差影響及び単価差影響により、前年同期と比べ減少しました。1-6 月期の累計総販売数量は前年同期比 2.1%減少しましたが、GFB 販売数量及び Fine Cut の販売数量は前年同期比でそれぞれ 2.1%、9.6%増加しました。市場シェアはウINSTONとキャメル伸長により前年同期と比べ 0.7 パーセントポイント増加し 25.9%となっています。

North and Central Europe

(億本, 百万ドル)	2019 年 4-6 月	2020 年 4-6 月	増減率
総販売数量	142	157	+10.7%
GFB 販売数量	74	81	+10.3%
自社たばこ製品売上収益	558	609	+9.1% (+12.8%)*

*為替一定ドルベース 対前年同期増減率

- **販売数量及び市場シェア¹**

総販売数量及び GFB 販売数量は、オーストリア・ドイツ・アイルランド・ポーランド・英国等での増加により前年同期比でそれぞれ 10.7%、10.3%の増加となりました。市場シェアは、オーストリア・チェコ・ドイツ・ハンガリー・アイルランド・ポーランド・スウェーデン・英国で伸長しました。

- **自社たばこ製品売上収益**

自社たばこ製品売上収益は、ドイツ及び UK 等を中心に発現した数量効果+80 百万ドルが、ネガティブな単価差影響▲9 百万ドル及び為替影響▲21 百万ドルを上回り、前年同期比 9.1%の増加となりました。ネガティブな為替影響を除いた場合、前年同期比 12.8%の増加となりました。

- **市場別実績**

ドイツにおける総販売数量、GFB 販売数量及び Fine cut の販売数量は、総需要の増加及びシェアの伸長により、前年同期比でそれぞれ 11.7%、17.5%、19.1%の増加となりました。為替一定自社たばこ製品売上収益は数量効果及び単価上昇効果により増加しました。1-6 月期の累計総販売数量、GFB 販売数量及び Fine cut 販売数量は前年同期比でそれぞれ 9.8%、20.4%、14.4%増加しました。市場シェアはウINSTONの伸長により、前年同期と比べ 0.4 パーセントポイント増加し 8.6%となりました。

英国における総販売数量及び Fine cut の販売数量は、国内への消費回帰による総需要の増加及びシェアの伸長を受け、前年同期比でそれぞれ 19.5%、39.8%の増加となりました。為替一定自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな数量効果により増加しました。1-6 月期の累計総販売数量及び Fine cut 販売数量は前年同期比でそれぞれ 14.8%、30.0%増加しました。市場シェアは、主に Fine cut におけるスターリングの伸長により、前年同期と比べ 1.9 パーセントポイント増加の 44.3%となりました。

CIS+

(億本, 百万ドル)	2019 年 4-6 月	2020 年 4-6 月	増減率
総販売数量	360	321	-10.9%
GFB 販売数量	246	217	-11.7%
自社たばこ製品売上収益	753	714	-5.1% (+3.9%)*

*為替一定ドルベース 対前年同期増減率

• 販売数量及び市場シェア¹

総販売数量及び GFB 販売数量は、総需要の減少及びネガティブに作用した流通在庫の影響により、前年同期比でそれぞれ 10.9%、11.7%の減少となりました。流通在庫調整の影響を除いた場合の総販売数量は前年同期比 10.7%の減少となっています。市場シェアはカザフスタン・ルーマニア・ウクライナで伸長しました。

• 自社たばこ製品売上収益

自社たばこ製品売上収益は、ロシア・ルーマニアを中心に発現した単価上昇効果+127 百万ドルがあったものの、ネガティブな数量差影響▲98 百万ドル及び為替影響▲68 百万ドルを相殺しきれず、前年同期比 5.1%の減少となりました。ネガティブな為替影響を除いた場合、前年同期比 3.9%の増加となっています。

• 市場別実績

ルーマニアにおける総販売数量及び GFB 販売数量は、市場シェアは回復傾向にあるものの、総需要の減少により、前年同期比でそれぞれ 1.1%、2.5%の減少となりました。為替一定自社たばこ製品売上収益は、単価上昇効果の発現により増加しました。1-6 月期の累計総販売数量、GFB 販売数量は前年同期比でそれぞれ 7.0%、5.1%増加しました。市場シェアはウィンストンとソプラニの伸長により前年同期と比べて 0.8 パーセントポイント増加し 28.3%に達しました。

ロシアにおける総販売数量及び GFB 販売数量は、不法取引の増加及び RRP 市場の拡大影響により紙巻総需要²が 8.3%減少したと推定される中、不利な価格差の影響により、4-6 月期においても市場シェアが 1.4 パーセントポイント減少したことにより、前年同期比でそれぞれ 13.7%、11.7%の減少となりました。ネガティブに作用した流通在庫調整の影響を除いた場合、総販売数量は前年同期比 13.5%の減少となっています。為替一定自社たばこ製品売上収益は、単価上昇効果により増加しました。1-6 月期の累計総販売数量及び GFB 販売数量は、前年同期比でそれぞれ 10.4%、13.6%減少しました。市場シェアは、過去 3 四半期に渡り安定的に推移しているものの、38.5%となりました。

Rest-of-the-World

(億本, 百万ドル)	2019 年 4-6 月	2020 年 4-6 月	増減率
総販売数量	510	438	-14.2%
GFB 販売数量	266	253	-4.9%
自社たばこ製品売上収益	1,088	1,102	+1.3% (+7.2%)*

*為替一定ドルベース 対前年同期増減率

• 販売数量及び市場シェア¹

総販売数量及び GFB 販売数量は、主にバングラデシュやトルコにおいて前年同期と比べ販売数量が減少したことに加え、渡航者数減少による免税販売へのネガティブな影響、複数の新興市場における総需要の減少及び、ネガティ

ブに作用した流通在庫調整の影響により、前年同期比でそれぞれ 14.2%、4.9%の減少となりました。流通在庫調整の影響を除いた場合の総販売数量はカナダ・イラン・ヨルダン・マレーシア・フィリピン・台湾において増加したものの、前年同期比 13.2%の減少となりました。市場シェアは、アルジェリア・カンボジア・カナダ・イラン・マレーシア・モロッコ・サウジアラビア・シンガポール・台湾・米国といった多くの市場で伸長しました。

- **自社たばこ製品売上収益**

自社たばこ製品売上収益は、主にカナダ・インドネシア・イラン・フィリピン・トルコで発現した単価上昇効果+151 百万ドルが、ネガティブな数量差影響▲72 百万ドル及びネガティブな為替影響▲64 百万ドルを上回り、前年同期比 1.3%の増加となりました。ネガティブな為替影響を除いた場合は前年同期比 7.2%の増加となりました。

- **市場別実績**

イランにおける総販売数量及び GFB 販売数量は、継続的なシェア伸長に加え、ポジティブに作用した流通在庫調整の影響により前年同期比でそれぞれ 5.6%、6.3%の増加となりました。流通在庫調整の影響を除いた場合、総販売数量は前年同期比 4.8%増加しました。為替一定自社たばこ製品売上収益は、ポジティブな数量効果と単価上昇効果の発現により増加しました。1-6 月期の累計総販売数量及び GFB 販売数量は、前年同期比でそれぞれ 9.9%、12.7%増加しました。市場シェアはウinstonとキャメルの伸長により、前年同期と比べ 3.1 パーセントポイント増加し、60.6%となりました。

台湾における総販売数量及び GFB 販売数量は、ネガティブに作用した流通在庫調整の影響が一部相殺したものの、国内への消費回帰による総需要の増加により、前年同期比でそれぞれ 9.5%、7.4%の増加となりました。流通在庫調整の影響を除いた場合の総販売数量は、前年同期比 11.9%増加しました。為替一定自社たばこ製品売上収益はポジティブな数量効果及び単価効果により増加しました。1-6 月期の累計総販売数量、GFB 販売数量は前年同期比でそれぞれ 6.0%、4.6%増加しました。市場シェアは LD とウinstonの伸長により、前年同期と比べ 2.6 パーセントポイント増加し 46.5%となりました。

トルコにおける総販売数量及び GFB 販売数量は、増税値上の影響により、前年同期比でそれぞれ 25.9%、24.1%の減少となりました。ネガティブに作用した流通在庫調整の影響を除いた場合の総販売数量は、前年同期比 18.8%の減少となりました。為替一定自社たばこ製品売上収益は、単価上昇効果がネガティブな数量差影響を相殺しきれず、減少しました。1-6 月期の累計総販売数量、GFB 販売数量は前年同期比でそれぞれ 19.4%、17.0%減少しました。市場シェアは、6 月に回復したものの、前年同期と比べ 0.9 パーセントポイント減少し、26.7%となりました。

¹出典：IRI、Logista、Nielsen 及び JTI 内部データ。特に言及がない限り 2020 年 6 月時点の 12 カ月移動平均ベースで、対象は紙巻たばこ及び Fine cut。スヌースを除く。ギリシャ・ハンガリー・イラン・カザフスタン・ルーマニア・スペイン・スイスに関するデータは 2020 年 5 月時点の 12 カ月移動平均ベース。12 カ月移動平均市場シェアの増減算出の比較対象は前年同期末時点の 12 カ月移動平均ベース。

²出典：JTI 内部データ。紙巻たばこを対象とする 2020 年 4-6 月期の対前年同一期間比較。

国内たばこ事業

(億本, 億円)	2019 年 4-6 月	2020 年 4-6 月	増減率	2019 年 1-6 月	2020 年 1-6 月	増減率
紙巻総需要 ³	318	282	-11.2%	612	570	-6.9%
紙巻販売数量	194	170	-12.6%	373	342	-8.6%
自社たばこ製品売上収益	1,489	1,230	-17.4%	2,823	2,488	-11.9%
調整後営業利益	582	386	-33.7%	1,092	818	-25.1%

2020 年 4-6 月

紙巻販売数量

紙巻総需要³は、RRP 市場の拡大、趨勢減、定価改定及び規制影響に加え、緊急事態宣言下における外出自粛期間中の紙巻たばこの需要の一時的な弱含みと RRP 需要の増加影響を受け、前年同期比 11.2%減の 282 億本となりました。

当社の紙巻販売数量は、総需要の減少に加え、紙巻シェアの減少により前年同期比 12.6%減の 170 億本となりました。

当社の紙巻シェア³については、低価格帯での競争継続により、前年同期比 1.0 パーセントポイント減の 60.1%となりましたが、前四半期と比べた場合上昇しております。

RRP 販売実績

国内たばこ市場における RRP の市場占有率³は約 26%（出荷ベース）と推計しています。

当社の RRP 販売数量は、前年同期比 2 億本増の 9 億本となりました。実需ベースの当社の RRP カテゴリー内シェア³は 10%程度と推計しております。なお、バージョンアップした高温加熱型の加熱式たばこ用デバイスである Ploom S 2.0 については 7 月より販売を開始しました。

自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益

自社たばこ製品売上収益は、紙巻販売数量の減少影響▲156 億円、2019 年 10 月の消費税増税時に一部銘柄で価格を据え置いたことに起因する紙巻におけるネガティブな単価差影響▲8 億円、RRP 関連売上収益の減少及び国内免税・中国事業の販売減少等により、前年同期比 17.4%の減収となりました。RRP 関連売上収益は、RRP 販売数量の増加はあるものの、デバイス売上の減少を主因として、前年同期比 51 億円減の 130 億円となっております。

調整後営業利益は、紙巻販売数量の減少影響▲129 億円、紙巻におけるネガティブな単価差影響▲8 億円に加え、RRP 関連売上収益の減少及び国内免税・中国事業の販売減少、RRP 及びリトルシガーの販促強化により、前年同期比 33.7%の減益となりました。

2020 年 1-6 月

紙巻販売数量

紙巻総需要³は、RRP 市場の拡大、趨勢減、定価改定及び規制影響に加え、第 2 四半期の緊急事態宣言下における外出自粛期間中の紙巻たばこの需要の一時的な弱含みと RRP 需要の増加影響を受け、前年同期比 6.9%減の 570 億本となりました。

当社の紙巻販売数量は、総需要減少に加え、紙巻シェアの減少により前年同期比 8.6%減の 342 億本となりました。

当社の紙巻シェア³は、低価格帯での競争継続により、前年同期比 1.1 パーセントポイント減の 59.9%となりました。

RRP 販売実績

国内たばこ市場における RRP の市場占有率³は約 25%（出荷ベース）と推計しています。

当社の RRP 販売数量は紙巻たばこ換算ベースで前年同期比 4 億本増加の 18 億本となりました。実需ベースの

当社の RRP カテゴリー内シェア³は 10%程度と推計しています。

- **自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益**

自社たばこ製品売上収益は、紙巻販売数量の減少影響▲204 億円、2019 年 10 月の消費税増税時に一部銘柄で価格を据え置いたことに起因する紙巻におけるネガティブな単価差▲22 億円に加え、RRP 関連売上収益の減少及び国内免税・中国事業の販売減少等により、前年同期比 11.9%の減収となりました。また、RRP 関連売上収益は、RRP 販売数量の増加はあるものの、デバイス売上の減少を主因として、前年同期比 45 億円減の 259 億円となっております。なお、売上収益における新型コロナウイルス感染拡大による影響は▲100 億円強と見立てており、うち国内免税・中国事業における影響が半分程度を占めています。

調整後営業利益は、紙巻販売数量の減少影響▲168 億円、紙巻におけるネガティブな単価差▲22 億円、RRP 関連売上収益の減少及び国内免税・中国事業の販売減少、RRP 及びリトルシガーの販促強化により、前年同期比 25.1%の減益となりました。

³ 出典：JT 推計。当社公表の紙巻総需要及び紙巻シェアには、紙巻たばこに加え、たばこ事業法上「葉巻たばこ」に分類されるリトルシガーが含まれております。

医薬事業

(億円)	2019 年 4-6 月	2020 年 4-6 月	増減率	2019 年 1-6 月	2020 年 1-6 月	増減率
売上収益	190	165	-13.0%	418	373	-10.8%
調整後営業利益	12	14	+9.0%	57	79	+38.8%

2020 年 4-6 月

・ 売上収益及び調整後営業利益

売上収益は、海外ロイヤリティ収入の減少等により、前年同期比 13.0%の減収となりました。

調整後営業利益については、海外ロイヤリティ収入の減少はあるものの、製造販売承認申請を行った開発品の試験終了等による研究開発費の減少及び当社子会社である鳥居薬品の増益により、前年同期比 9.0%の増益となりました。

2020 年 1-6 月

・ 売上収益及び調整後営業利益

4-6 月期と同様の要因により、売上収益は前年同期比 10.8%の減収、調整後営業利益については前年同期比 38.8%の増益となりました。なお、新型コロナウイルス感染拡大によるトップラインへの影響は軽微となっております。

加工食品事業

(億円)	2019 年 4-6 月	2020 年 4-6 月	増減率	2019 年 1-6 月	2020 年 1-6 月	増減率
売上収益	394	351	-11.0%	754	718	-4.8%
調整後営業利益	13	▲1	—	16	3	-78.2%

2020 年 4-6 月

・ 売上収益及び調整後営業利益

売上収益については、特に緊急事態宣言下において外出自粛等の影響を受け、冷食常温事業の家庭用製品の需要が増加し販売が伸長したものの、冷食常温・調味料事業の外食向け製品及びベーカリー事業においては需要減に伴い販売が減少し、前年同期比 11.0%の減収となりました。

調整後営業利益については、商品構成の改善はあるものの、売上収益の減少により、前年同期比 14 億円減の、1 億円の損失となりました。

2020 年 1-6 月

・ 売上収益及び調整後営業利益

4-6 月期と同様の要因により、前年同期比で売上収益は 4.8%の減収、調整後営業利益については 13 億円の減益となりました。なお、新型コロナウイルス感染拡大によるトップライン影響は▲40 億円程度と見立てております。

修正見込みの前提と概要

2020 年の通期業績見込につきましては、新型コロナウイルス感染拡大について、上半期に発現した影響に加え、一定の前提のもと、今後想定される影響についても反映させております。具体的には、各国・地域においてロックダウンは段階的に解除されていくこと、経済活動への影響は 4-6 月期をピークに徐々に緩和され、U 字型の経済回復を想定するものの影響そのものは年内を通して継続することを前提としております。なお、ロックダウンや緊急事態宣言の発令を伴う規模の第 2 波以降の影響については含んでおりません。

全社見込

(億円)	2020 当初見込	2020 今回見込	対当初見込	対前年実績
売上収益	21,800	20,100	-1,700	-7.6%
調整後営業利益	5,030	4,570	-460	-11.4%
営業利益	4,710	4,220	-490	-16.0%
当期利益（親会社所有者帰属）	3,050	2,860	-190	-17.9%
為替一定ベース 調整後営業利益	5,160	5,090	-70	-1.3%

- **売上収益**

為替前提を見直したことによるネガティブ影響に加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う国内・海外たばこ事業における数量前提の変更及び加工食品事業での下方修正を反映し、当初見込より 1,700 億円下方修正し、前年度比 7.6%の減収となる 2 兆 100 億円を見込んでいます。

- **調整後営業利益**

為替一定ベースの調整後営業利益は医薬事業での上方修正はあるものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う国内たばこ事業及び加工食品事業での下方修正を受け、当初見込より 70 億円下方修正し、前年度比 1.3%の減少となる 5,090 億円を見込んでいます。

財務報告ベースの調整後営業利益は、為替一定ベースでの下方修正に加え為替前提を見直したことにより、当初見込より 460 億円下方修正し、前年度比 11.4%の減少となる 4,570 億円を見込んでいます。

- **営業利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益**

営業利益については、調整後営業利益の下方修正を主因に当初見込から 490 億円下方修正し、前年度比 16.0%の減益となる 4,220 億円を見込んでいます。

親会社に帰属する当期利益については、営業利益の下方修正を、税負担の軽減が一部相殺し、当初見込から 190 億円下方修正し、前年度比 17.9%の減益となる 2,860 億円を見込んでいます。

事業別見込

海外たばこ事業

(億円)	2020 当初見込	2020 今回見込	対当初見込	対前年実績
総販売数量	約 3%の減少	約 6%の減少		
GFB 販売数量	約 1%の増加	約 3%の減少		
自社たばこ製品売上収益	13,000	11,700	-1,300	-6.6%
調整後営業利益	3,610	3,230	-380	-5.2%
参考：ドルベース（百万ドル）				
自社たばこ製品売上収益	12,000	10,900	-1,100	-5.2% (+0.9%)*
調整後営業利益	3,350	3,000	-350	-4.0% (+10.0%)*

*為替一定ドルベース 対前年度増減率

● 販売数量

多くの市場で堅調な市場シェアパフォーマンスが確認できているものの、上期の実績に加え、渡航者数の減少による免税販売数量への影響及び、ロシアや新興国における総需要の減少を踏まえ、総販売数量及び GFB 販売数量について、前年度比でそれぞれ約 6%の減少、約 3%の減少へ引き下げました。

● 自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益

円ベースの自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益について、ネガティブな為替影響の拡大を織り込み、それぞれ 1,300 億円、380 億円下方修正し、前年度比で 6.6%、5.2%の減少となる見込みです。

ドルベースの為替一定自社たばこ製品売上収益は、総販売数量の見通しを引き下げたことを主因に 500 百万ドル下方修正し、前年度比 0.9%の増加となる見込みです。財務報告ベースでは、IRR 及び RUB 等におけるネガティブな為替影響の拡大を織り込み、1,100 百万ドル下方修正し、前年度比 5.2%の減少となる見通しです。調整後営業利益については、350 百万ドル下方修正し、前年度比 4.0%の減少を見込んでおります。為替一定ベースの調整後営業利益については、売上収益は下方修正したものの、想定以上のプライシングがダウントレーディング進行の影響を上回ることによって単価上昇効果が拡大すること、及び上期のコスト減を反映し、当初見込から変更なく前年度比 10.0%の増加を見込んでおります。なお、必要な投資については引き続き着実に実行してまいります。

国内たばこ事業

(億円)	2020 当初見込	2020 今回見込	対当初見込	対前年実績
紙巻総需要 ⁴	5%台前半の減少	8%台半ばの減少		
紙巻販売数量	約 6%の減少	8%台後半の減少		
自社たばこ製品売上収益	5,400	5,100	-300	-10.4%
調整後営業利益	1,700	1,600	-100	-14.5%

• 販売数量

紙巻総需要⁴は、第 2 四半期までの外出自粛期間中における紙巻たばこの一時的な需要の弱含み及び RRP 需要の増加影響を主因とし、前年度比 5%台前半の減少から 8%台半ばの減少に下方修正いたします。RRP の市場占有率⁴については、第 2 四半期までの外出自粛期間中における一時的な RRP 需要の増加を反映しているものの、通年で 20%台半ばの水準に収まる見通しとなっており、ガイダンスについては変更ありません。たばこ総需要⁴は、特に緊急事態宣言下・外出自粛期間中における一時的な総需要減少率の拡大影響を受け、前年度比 3%台半ばの減少から約 5%の減少に下方修正いたします。

当社の紙巻販売数量前提につきましては、紙巻総需要の前提修正に伴い、前年度比約 6%の減少から 8%台後半の減少に下方修正いたします。RRP 販売数量前提につきましては、第 2 四半期までの実績に鑑み、当初見込からの変更はなく 30 億本台後半としております。

• 自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益

自社たばこ製品売上収益は、免税ビジネスが事業規模に比して新型コロナウイルス感染拡大によるトップラインへの影響を大きく受けていることに加え、国内市場における一時的な総需要減少率の拡大影響を背景に、当初見込から 300 億円下方修正し、前年度比 10.4%の減収を見込んでいます。

調整後営業利益については、国内市場において、コスト低減等により一時的なトップライン影響の緩和に努めるものの、免税市場でのトップライン影響を受け、100 億円下方修正し、前年度比 14.5%の減益を見込んでいます。

⁴ 出典：JT 推計。当社公表のたばこ総需要及び紙巻総需要には、紙巻たばこに加え、たばこ事業法上「葉巻たばこ」に分類されるリトルシガーが含まれております。

医薬事業

(億円)	2020 当初見込	2020 今回見込	対当初見込	対前年実績
売上収益	760	760	—	-14.2%
調整後営業利益	100	130	+30	-18.5%

- **売上収益及び調整後営業利益**

売上収益は当初見込からの変更はなく、前年度比 14.2%の減収を見込んでいます。

調整後営業利益は、新型コロナウイルス感染拡大に伴うオペレーションの制限による、研究開発費の減少及び鳥居薬品の経費減等を背景に、30 億円上方修正するものの、海外ロイヤリティ収入の減少を主因として前年度比 18.5%の減益を見込んでいます。

加工食品事業

(億円)	2020 当初見込	2020 今回見込	対当初見込	対前年実績
売上収益	1,600	1,530	-70	-3.5%
調整後営業利益	50	30	-20	-44.8%

- **売上収益及び調整後営業利益**

売上収益は、特に外出自粛期間中の冷食常温・調味料事業における外食向け製品及びベーカリー事業の弱含みを反映し、70 億円下方修正し、前年度比 3.5%の減収を見込んでいます。なお、外食向け製品とベーカリー事業へのトップライン影響は第 2 四半期で底を打ち、徐々に回復する見通しです。冷食常温事業の家庭用製品については、下期は当初計画同水準と見立てております。

調整後営業利益について、下期は商品構成の改善や経費節減等に取り組むものの、売上収益の下方修正に伴い 20 億円下方修正し、前年度比 24 億円の減益を見込んでいます。

データシート

2020年 Q2実績（累計）

1. 全社業績ハイライト

（単位：億円）

	2019 Q2累計	2020 Q2累計	増減	増減率
売上収益	10,585	10,302	-283	-2.7%
営業利益	3,113	2,520	-593	-19.1%
調整後営業利益	2,878	2,876	-2	-0.1%
税引前利益	2,906	2,260	-647	-22.2%
四半期利益	2,384	1,734	-651	-27.3%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	2,265	1,725	-540	-23.8%
基本的EPS*（円）	127.23	97.23	-30.00	-23.6%

*親会社の所有者に帰属する四半期利益を基に算定

（参考）全社

（単位：億円）

	2019 Q2累計	2020 Q2累計	増減	増減率
為替一定調整後営業利益	2,878	3,093	+215	+7.5%

2. 事業セグメント別実績

（単位：億円）

	2019 Q2累計	2020 Q2累計	増減	増減率
売上収益	10,585	10,302	-283	-2.7%
国内たばこ事業	3,027	2,677	-350	-11.6%
自社たばこ製品売上収益	2,823	2,488	-335	-11.9%
海外たばこ事業	6,357	6,519	+163	+2.6%
自社たばこ製品売上収益	6,075	6,261	+186	+3.1%
医薬事業	418	373	-45	-10.8%
加工食品事業	754	718	-36	-4.8%
その他	29	14	-15	-50.9%
全社 営業利益	3,113	2,520	-593	-19.1%
国内たばこ事業	1,011	737	-274	-27.1%
海外たばこ事業	1,587	1,873	+286	+18.0%
医薬事業	625	72	-553	-88.5%
加工食品事業	14	3	-11	-75.6%
その他/消去	-124	-165	-41	-
調整合計	235	-356	-592	-
国内たばこ事業	-81	-81	-0	-
海外たばこ事業	-267	-270	-3	-
医薬事業	568	-7	-575	-
加工食品事業	-2	-0	+2	-
その他/消去	17	2	-14	-
全社 調整後営業利益	2,878	2,876	-2	-0.1%
国内たばこ事業	1,092	818	-274	-25.1%
海外たばこ事業	1,854	2,143	+289	+15.6%
医薬事業	57	79	+22	+38.8%
加工食品事業	16	3	-13	-78.2%
その他/消去	-141	-168	-27	-

（参考）海外たばこ事業 ドルベース

（単位：百万ドル）

	2019 Q2累計	2020 Q2累計	増減	増減率
自社たばこ製品売上収益	5,520	5,784	+264	+4.8%
為替一定自社たばこ製品売上収益	5,520	6,045	+525	+9.5%
調整後営業利益	1,685	1,980	+296	+17.6%
為替一定調整後営業利益	1,685	2,144	+459	+27.3%

2020年 Q2実績（累計）

3. 減価償却費及び償却費*

（単位：億円）

	2019 Q2累計	2020 Q2累計	増減
全社 減価償却費及び償却費	840	811	-29
国内たばこ事業	277	267	-10
海外たばこ事業	492	474	-18
医薬事業	28	26	-2
加工食品事業	34	33	-1
その他/消去	9	11	+1

*リース取引に係る減価償却費を除く

4. 連結財政状態データ

（単位：億円）

	2019年12月末	2020年6月末	増減
資産合計	55,531	53,472	-2,059
資本合計	27,436	26,240	-1,196
親会社の所有者に帰属する持分	26,627	25,447	-1,180
1株当たり親会社所有者帰属持分（円）	1,501.12	1,434.25	-66.87

5. 手元流動性及び有利子負債

（単位：億円）

	2019年12月末	2020年6月末	増減
手元流動性	3,758	4,247	+489
有利子負債	9,745	10,815	+1,070

6. 連結キャッシュフロー・データ

（単位：億円）

	2019 Q2累計	2020 Q2累計	増減
営業キャッシュフロー	2,219	1,266	-953
投資キャッシュフロー	-823	-279	+544
財務キャッシュフロー	-1,040	-250	+791
現金及び現金同等物の期首残高	2,821	3,572	+751
現金及び現金同等物に係る換算差額等	-85	-232	-147
現金及び現金同等物の期末残高	3,092	4,077	+986
FCF	1,323	931	-392

7. 資本的支出

（単位：億円）

	2019 Q2累計	2020 Q2累計	増減
資本的支出	565	455	-110
国内たばこ事業	174	87	-87
海外たばこ事業	289	229	-60
医薬事業	43	78	+35
加工食品事業	29	40	+11
その他/消去	30	21	-9

8. 為替

	2019 Q2累計	2020 Q2累計	増減	増減率
USドル/円	110.06	108.23	-1.83	1.7%高
USドル/RUB	65.34	69.24	+3.90	5.6%安
USドル/GBP	0.77	0.79	+0.02	2.6%安
USドル/EUR	0.89	0.91	+0.02	2.5%安
USドル/CHF	1.00	0.97	-0.03	3.5%高
USドル/TWD	30.96	30.01	-0.95	3.2%高
USドル/TRY	5.62	6.48	+0.86	13.3%安
USドル/IRR	96,571	139,706	+43,135	30.9%安

上記表のUSD/IRRはEUR/IRR換算より算出

2020年度 修正見込 (2020/7/31公表)

1. 全社業績ハイライト

(単位：億円)

	2019年度 実績	2020年度 修正見込	増減	増減率
売上収益	21,756	20,100	-1,656	-7.6%
営業利益	5,024	4,220	-804	-16.0%
調整後営業利益	5,159	4,570	-589	-11.4%
親会社の所有者に帰属する当期利益	3,482	2,860	-622	-17.9%

(参考) 全社

(単位：億円)

	2019年度 実績	2020年度 修正見込	増減	増減率
為替一定調整後営業利益	5,159	5,090	-69	-1.3%

2. EPS・配当金・ROE

(単位：円)

	2019年度 実績	2020年度 修正見込	増減	増減率
基本的EPS*	195.97	161.21	-34.76	-17.7%
1株当たり配当金	154	154	-	-
ROE*	13.2%	11.2%	-2.0%pt	

*基本的EPS/ROEは親会社の所有者に帰属する当期利益を基に算定

3. 事業セグメント別売上収益

(単位：億円)

	2019年度 実績	2020年度 修正見込	増減	増減率
売上収益	21,756	20,100	-1,656	-7.6%
国内たばこ事業	6,115	5,500	-615	-10.1%
自社たばこ製品売上収益	5,689	5,100	-589	-10.4%
海外たばこ事業	13,109	12,300	-809	-6.2%
自社たばこ製品売上収益	12,530	11,700	-830	-6.6%
医薬事業	885	760	-125	-14.2%
加工食品事業	1,586	1,530	-56	-3.5%
その他	61	30	-31	-51.1%
全社 営業利益	5,024	4,220	-804	-16.0%
国内たばこ事業	1,710	1,440	-270	-15.8%
海外たばこ事業	2,740	2,730	-10	-0.4%
医薬事業	727	120	-607	-83.5%
加工食品事業	55	30	-25	-45.7%
その他/消去	-208	-100	+108	-
全社 調整後営業利益	5,159	4,570	-589	-11.4%
国内たばこ事業	1,872	1,600	-272	-14.5%
海外たばこ事業	3,408	3,230	-178	-5.2%
医薬事業	159	130	-29	-18.5%
加工食品事業	54	30	-24	-44.8%
その他/消去	-334	-420	-86	-

(参考) 海外たばこ事業 ドルベース

(単位：百万ドル)

	2019年度 実績	2020年度 修正見込	増減	増減率
自社たばこ製品売上収益	11,496	10,900	-596	-5.2%
為替一定自社たばこ製品売上収益	11,496	11,600	+104	+0.9%
調整後営業利益	3,126	3,000	-126	-4.0%
為替一定調整後営業利益	3,126	3,440	+314	+10.0%

2020年度 修正見込 (2020/7/31公表)

4. FCF

(単位：億円)

	2019年度 実績	2020年度 修正見込	増減
FCF	4,042	3,500	-542

5. 資本的支出

(単位：億円)

	2019年度 実績	2020年度 修正見込	増減
資本的支出	1,314	1,230	-84
国内たばこ事業	348	260	-88
海外たばこ事業	783	680	-103
医薬事業	70	90	+20
加工食品事業	61	110	+49
その他/消去	52	90	+38

6. 業績予想の主な前提条件

- 国内たばこ事業
 - ・ 2020年の国内たばこ総需要(自社推計)：対前年で約5%の減少(2019年の国内たばこ総需要は推計1,619億本)
 - ・ 2020年の国内紙巻たばこ総需要(自社推計)：対前年で8%台半ばの減少(2019年の国内紙巻たばこ総需要は1,251億本)
 - ・ 2020年のJT紙巻販売数量：対前年で8%台後半の減少(2019年のJT紙巻販売数量は755億本)
 - ・ RRP市場占有率(自社推計,出荷ベース)：2020年は通年で20%台半ば(2019年は通年で約23%)
 - ・ 2020年のJT RRP販売数量：紙巻換算で30億本台後半
- 海外たばこ事業
 - ・ 2020年の総販売数量：対前年で約6%の減少(2019年の総販売数量は4,458億本)
 - ・ 2020年のGFB販売数量：対前年で約3%の減少(2019年のGFB販売数量は2,770億本)

<為替前提レート>

	2019年度 実績	2020年度 修正見込	増減	増減率
USドル/円	109.03	107.62	-1.41	1.3%高
USドル/RUB	64.74	71.40	+6.66	9.3%安
USドル/GBP	0.78	0.81	+0.03	3.2%安
USドル/EUR	0.89	0.92	+0.03	2.9%安
USドル/CHF	0.99	0.97	-0.02	2.5%高
USドル/TWD	30.90	30.00	-0.90	3.0%高
USドル/TRY	5.67	6.80	+1.13	16.6%安
USドル/IRR	104,046	156,000	+51,954	33.3%安

上記表のUSD/IRRはEUR/IRR換算より算出

2020年度 修正見込 vs 当初見込
(2020/7/31公表)

1. 全社業績ハイライト

(単位：億円)

	2020年度 当初見込	2020年度 修正見込	増減	増減率
売上収益	21,800	20,100	-1,700	-7.8%
営業利益	4,710	4,220	-490	-10.4%
調整後営業利益	5,030	4,570	-460	-9.1%
親会社の所有者に帰属する当期利益	3,050	2,860	-190	-6.2%

(参考) 全社

(単位：億円)

	2020年度 当初見込	2020年度 修正見込	増減	増減率
為替一定調整後営業利益	5,160	5,090	-70	-1.4%

2. EPS・配当金・ROE

(単位：円)

	2020年度 当初見込	2020年度 修正見込	増減	増減率
基本的EPS	171.95	161.21	-10.74	-6.2%
1株当たり配当金	154	154	-	-
ROE (親会社所有者帰属持分当期利益ベース)	11.5%	11.2%	-0.3%pt	

3. 事業セグメント別売上収益

(単位：億円)

	2020年度 当初見込	2020年度 修正見込	増減	増減率
売上収益	21,800	20,100	-1,700	-7.8%
国内たばこ事業	5,800	5,500	-300	-5.2%
自社たばこ製品売上収益	5,400	5,100	-300	-5.6%
海外たばこ事業	13,600	12,300	-1,300	-9.6%
自社たばこ製品売上収益	13,000	11,700	-1,300	-10.0%
医薬事業	760	760	-	-
加工食品事業	1,600	1,530	-70	-4.4%
その他	30	30	-	-
全社 営業利益	4,710	4,220	-490	-10.4%
国内たばこ事業	1,540	1,440	-100	-6.5%
海外たばこ事業	3,100	2,730	-370	-11.9%
医薬事業	100	120	+20	+20.0%
加工食品事業	50	30	-20	-40.0%
その他/消去	-80	-100	-20	-
全社 調整後営業利益	5,030	4,570	-460	-9.1%
国内たばこ事業	1,700	1,600	-100	-5.9%
海外たばこ事業	3,610	3,230	-380	-10.5%
医薬事業	100	130	+30	+30.0%
加工食品事業	50	30	-20	-40.0%
その他/消去	-430	-420	+10	-

(参考) 海外たばこ事業 ドルベース

(単位：百万ドル)

	2020年度 当初見込	2020年度 修正見込	増減	増減率
自社たばこ製品売上収益	12,000	10,900	-1,100	-9.2%
為替一定自社たばこ製品売上収益	12,100	11,600	-500	-4.1%
調整後営業利益	3,350	3,000	-350	-10.4%
為替一定調整後営業利益	3,440	3,440	-	-

2020年度 修正見込 vs 当初見込
(2020/7/31公表)

4. FCF (単位：億円)

	2020年度 当初見込	2020年度 修正見込	増減
FCF	3,700	3,500	-200

5. 資本的支出 (単位：億円)

	2020年度 当初見込	2020年度 修正見込	増減
資本的支出	1,440	1,230	-210
国内たばこ事業	290	260	-30
海外たばこ事業	800	680	-120
医薬事業	100	90	-10
加工食品事業	140	110	-30
その他/消去	110	90	-20

6. 2020年度業績予想の主な前提条件の修正 (vs 2019年度実績)

国内たばこ事業	当初見込	修正見込
たばこ総需要*	3%台半ばの減少	→ 約5%の減少
紙巻総需要*	5%台前半の減少	→ 8%台半ばの減少
RRP市場占有率*	20%台半ば	
JT紙巻販売数量	約6%の減少	→ 8%台後半の減少
JT RRP販売数量	30億本台後半	

*JT推計、通年・出荷ベース

海外たばこ事業	当初見込	修正見込
総販売数量	約3%の減少	→ 約6%の減少
GFB販売数量	約1%の増加	→ 約3%の減少

＜為替前提レート＞

	2020年度 当初見込	2020年度 修正見込	増減	増減率
USドル/円	108.00	107.62	-0.38	0.4%高
USドル/RUB	63.00	71.40	+8.40	11.8%安
USドル/GBP	0.78	0.81	+0.03	3.7%安
USドル/EUR	0.89	0.92	+0.03	3.3%安
USドル/CHF	0.97	0.97	-	-
USドル/TWD	30.00	30.00	-	-
USドル/TRY	6.20	6.80	+0.60	8.8%安
USドル/IRR	130,000	156,000	+26,000	16.7%安

上記表のUSD/IRRはEUR/IRR換算より算出

＜為替感応度＞

前提レートからの為替変動が利益に与える影響：2020年調整後営業利益（修正見込）3,000百万ドル（算定ベース）

- ・ドルに対して円以外の全ての通貨が、2020年修正前提レートに対して同じ方向に1%変動すると、2020年ドルベースAOPが50百万ドル程度変動
- ・50百万ドル程度の変動を構成する主な通貨および内訳
 - RUB 30%弱、GBP 15%強、TWD 15%弱、EUR 10%弱、IRR 10%程度、TRY 5%弱、CHF -10%程度
- ・円換算時は円がドルに対して1円変動すると、円ベース調整後営業利益が30億円程度変動

たばこ事業データ

海外たばこ事業

1. サマリー（累計）

	2019Q2	2020Q2	増減	増減率	
総販売数量	2,225	2,119	-106	-4.8%	億本
GFB販売数量	1,363	1,363	-0	-0.0%	億本
自社たばこ製品売上収益	6,075	6,261	+186	+3.1%	億円
調整後営業利益	1,854	2,143	+289	+15.6%	億円

[参考：ドルベース]

自社たばこ製品売上収益	5,520	5,784	+264	+4.8%	百万ドル
調整後営業利益	1,685	1,980	+296	+17.6%	百万ドル
為替一定ベース					
自社たばこ製品売上収益	5,520	6,045	+525	+9.5%	百万ドル
調整後営業利益	1,685	2,144	+459	+27.3%	百万ドル

・クラスター別構成比（前年同期比）

（億本/百万ドル）

財務報告ベース

2020Q2	総販売数量		GFB販売数量		自社たばこ製品売上収益	
SWE	340	+2.3%	283	+5.0%	1,039	+0.7%
NCE	298	+10.3%	155	+13.4%	1,156	+11.2%
CIS+	588	-7.4%	399	-9.9%	1,351	+3.8%
RoW	893	-9.6%	526	+2.3%	2,238	+4.2%
Total	2,119		1,363		5,784	

2. クラスター/市場別 総販売数量（前年同期比）

2020	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
SWE	+6.7%	-2.2%			+2.3%
France	+5.7%	+20.9%			+13.5%
Italy	+9.8%	-7.6%			+1.3%
Spain	+14.3%	-18.3%			-2.1%
NCE	+9.9%	+10.7%			+10.3%
Germany	+7.8%	+11.7%			+9.8%
UK	+9.9%	+19.5%			+14.8%
CIS+	-2.7%	-10.9%			-7.4%
Romania	+16.8%	-1.1%			+7.0%
Russia	-5.7%	-13.7%			-10.4%
RoW	-4.7%	-14.2%			-9.6%
Iran	+14.1%	+5.6%			+9.9%
Taiwan	+2.5%	+9.5%			+6.0%
Turkey	-11.8%	-25.9%			-19.4%
Total	-0.6%	-8.5%			-4.8%

3. ブランド別 GFB販売数量（前年同期比）

（億本）

2020	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
Winston	377	391			768
	+5.7%	-2.3%			+1.4%
Camel	144	130			274
	+3.4%	-11.7%			-4.3%
MEVIUS	39	36			76
	-1.0%	-11.9%			-6.6%
LD	115	131			246
	+5.9%	+0.1%			+2.7%

たばこ事業データ

海外たばこ事業

4. クラスター/市場別 GFB販売数量 (前年同期比)

2020	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
SWE	+7.8%	+2.2%			+5.0%
France	+5.8%	+26.2%			+16.0%
Italy	+12.2%	-7.6%			+2.4%
Spain	+14.6%	-11.0%			+2.1%
NCE	+17.1%	+10.3%			+13.4%
Germany	+23.9%	+17.5%			+20.4%
UK	-23.9%	-14.0%			-18.8%
CIS+	-7.6%	-11.7%			-9.9%
Romania	+14.1%	-2.5%			+5.1%
Russia	-16.0%	-11.7%			-13.6%
RoW	+9.9%	-4.9%			+2.3%
Iran	+19.3%	+6.3%			+12.7%
Taiwan	+1.8%	+7.4%			+4.6%
Turkey	-8.7%	-24.1%			-17.0%
Total	+4.8%	-4.4%			-0.0%

5. 主要市場別シェア

	12ヶ月移動平均			3ヶ月平均			
	2019 6月	2020 6月	増減	2019 Q2	2019 Q3	2019 Q4	2020 Q1
France	23.6%	25.2%	+1.6%pt	24.2%	24.1%	24.4%	25.1%
Italy	24.2%	24.9%	+0.7%pt	24.4%	24.6%	24.6%	25.1%
Russia*	38.7%	38.5%	-0.1%pt	39.7%	39.1%	38.4%	38.4%
Spain**	25.1%	25.9%	+0.7%pt	25.5%	25.7%	26.1%	26.0%
Taiwan	43.9%	46.5%	+2.6%pt	45.0%	45.4%	46.1%	46.8%
Turkey	27.6%	26.7%	-0.9%pt	29.3%	26.9%	26.5%	26.9%
UK	42.4%	44.3%	+1.9%pt	43.4%	43.7%	44.3%	44.2%

Source: IRI, Nielsen, Logista / 出典元の過去データ修正も反映しています。

*12カ月移動平均シェア、3ヶ月平均シェアのいずれも2018年8月からDonskoy Tabakが含まれています。

**2020年5月時点の、12カ月移動平均および2カ月平均を採用しております。

6. クラスター別 為替一定自社たばこ製品売上収益 (前年同期比)

(百万ドル)

2020	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
SWE	559	498			1,058
	+9.3%	-4.1%			+2.6%
NCE	563	630			1,192
	+16.8%	+12.8%			+14.7%
CIS+	646	782			1,427
	+17.7%	+3.9%			+9.7%
RoW	1,201	1,166			2,367
	+13.3%	+7.2%			+10.2%
Total	2,969	3,076			6,045
	+14.1%	+5.4%			+9.5%

たばこ事業データ

海外たばこ事業

7. 要因別 自社たばこ製品売上収益実績

・ドルベース						(百万ドル)
		Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2019		2,602	2,919			5,520
	数量差	+62	-111			-49
	価格差/Mix	+305	+269			+574
2020	為替一定	2,969	3,076			6,045
	FX	-102	-159			-261
2020		2,866	2,918			5,784

・円ベース						(億円)
		Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2019		2,868	3,207			6,075
	Operations	+404	+173			+578
	現地通貨 vs. 米ドル	-113	-174			-287
	円 vs. 米ドル	-39	-66			-105
2020		3,120	3,140			6,261

8. 要因別 調整後営業利益実績

・ドルベース						(百万ドル)
		Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2019		809	876			1,685
	数量差	+49	-32			+17
	価格差/Mix	+299	+270			+569
	その他	-110	-16			-126
2020	為替一定	1,047	1,097			2,144
	FX	-91	-73			-164
2020		956	1,025			1,980

・円ベース						(億円)
		Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2019		892	962			1,854
	Operations	+262	+244			+506
	現地通貨 vs. 米ドル	-100	-80			-180
	円 vs. 米ドル	-13	-23			-36
2020		1,041	1,103			2,143

9. 実績為替レート (前年同期比)

2020	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
USドル/RUB	66.33 0.3%安	72.15 10.5%安			69.24 5.6%安
USドル/GBP	0.78 1.7%安	0.81 3.4%安			0.79 2.6%安
USドル/EUR	0.91 2.9%安	0.91 2.0%安			0.91 2.5%安
USドル/CHF	0.97 3.0%高	0.96 4.1%高			0.97 3.5%高
USドル/TWD	30.11 2.4%高	29.91 4.0%高			30.01 3.2%高
USドル/TRY	6.10 12.1%安	6.86 14.4%安			6.48 13.3%安
USドル/IRR	128,673 31.3%安	150,740 30.6%安			139,706 30.9%安
USドル/JPY	108.86 1.2%高	107.63 2.1%高			108.23 1.7%高

現地通貨 vs USD増減率：(前年同期の現地通貨レート／各期の現地通貨レート) -1で算出

円 vs USD増減率：(各期のレート／前年同期のレート) -1で算出

上記表のUSD/IRRはEUR/IRR換算より算出

たばこ事業データ

国内たばこ事業

1. サマリー（累計）

	2019 Q2	2020 Q2	増減	増減率	
紙巻たばこ総需要（自社推計）	612	570	-42	-6.9%	億本
紙巻販売数量	373	342	-32	-8.6%	億本
紙巻販売数量には国内免税販売分・中国事業部分（2019年Q2実績：20億本、2020年Q2実績：9億本）およびRRP販売数量を含んでいません					
自社たばこ製品売上収益	2,823	2,488	-335	-11.9%	億円
調整後営業利益	1,092	818	-274	-25.1%	億円

2. 紙巻販売数量

	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2019	179	194	201	181	755
2020	172	170			
前年同期比増減率	-4.2%	-12.6%			

3. 紙巻千本当売上収益

	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2019	6,407	6,391	6,414	6,306	6,380
2020	6,326	6,344			

千本当売上収益 = {販売定価代金 - 販売店マージン - 消費税 - たばこ税（国税） - たばこ税（地方税） - たばこ特別税（国税）} / 販売数量 × 1,000

4. 四半期別RRP製品関連計数

	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
2020					
RRP販売数量	9	9			18
RRP関連売上収益	130	130			259

5. 要因別 財務実績

	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
自社たばこ製品売上収益					
2019	1,335	1,489			2,823
紙巻数量差	-48	-156			-204
紙巻単価差	-14	-8			-22
RRP/その他	-15	-94			-109
2020	1,258	1,230			2,488
調整後営業利益					
2019	510	582			1,092
紙巻数量差	-39	-129			-168
紙巻単価差	-14	-8			-22
RRP/その他	-25	-59			-84
2020	432	386			818

6. 紙巻シェア（出典 自社推計）

	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
JT Total					
2019	61.0	61.0	60.1	59.3	60.4
2020	59.7	60.1			
MEVIUS					
2019	30.3	30.6	30.3	29.5	30.2
2020	28.9	28.8			
Winston					
2019	7.8	7.8	7.4	7.5	7.6
2020	7.3	7.3			
Seven Stars					
2019	7.9	7.8	7.8	7.6	7.8
2020	7.5	7.5			
Natural American Spirit					
2019	1.9	1.9	2.0	2.0	2.0
2020	2.0	2.0			

医薬事業 臨床開発品目一覧 (2020年7月31日)

<自社開発品>

開発番号 (一般名)	想定する 適応症/剤形	作用機序		開発段階 (実施地域)	起源	備考
JTZ-951 (enarodustat)	腎性貧血 /経口	HIF-PH阻害	HIF-PHを阻害することにより、 造血刺激ホルモンであるエリスロポエチ ンの産生を促し、赤血球を増加させる	申請中 (国内) Phase1 (海外)	自社品	・鳥居薬品と共同開発
JTE-052 (delgocitinib)	小児アトピー性皮膚炎 /外用	JAK阻害	免疫活性化シグナルに関与しているJAK を阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	申請中 (国内)	自社品	・鳥居薬品と共同開発
	自己免疫・アレルギー疾患 /経口・外用			Phase1 (国内)		
JTE-051	自己免疫・アレルギー疾患 /経口	ITK阻害	免疫反応に関与しているT細胞を活性化 するシグナルを阻害し、過剰な免疫反応 を抑制する	Phase2 (海外)	自社品	
JTE-451	自己免疫・アレルギー疾患 /経口	RORγ アンタゴニスト	Th17細胞の活性化に中心的な役割を 担うRORγを阻害し、過剰な免疫反応を 抑制する	Phase2 (海外)	自社品	
	自己免疫・アレルギー疾患 /外用			Phase1 (国内)		
JTT-251	2型糖尿病 /経口	PDHK阻害	糖代謝に関与するピルビン酸脱水素酵素 (PDH) を活性化し、高血糖を是正する	Phase1 (海外)	自社品	
JTT-662	2型糖尿病 /経口	SGLT1阻害	SGLT1を阻害し、食後高血糖の是正及 び血糖値の正常化を行う	Phase1 (海外)	自社品	
JTE-761	自己免疫・アレルギー疾患 /経口	RORγ アンタゴニスト	Th17細胞の活性化に中心的な役割を担 うRORγを阻害し、過剰な免疫反応を 抑制する	Phase1 (海外)	自社品	
JTT-751 (クエン酸第二鉄水 和物)	鉄欠乏性貧血 /経口	経口鉄剤	鉄が消化管から吸収され、 体内で赤血球中のヘモグロビンの成分と して使用され、鉄欠乏性貧血を改善する	申請中 (国内)	導入品	・Keryx Biopharmaceuticals 社からの導入 ・鳥居薬品と共同開発 ・効能追加として開発

(注) 開発段階の表記は投薬開始を基準とする

<導出品>

一般名等 (当社開発番号)	導出先	作用機序		備考
trametinib	Novartis社	MEK阻害	細胞増殖シグナル伝達経路に存在するリン酸化酵素MEK の働きを阻害することにより、細胞増殖を抑制する	
抗ICOS抗体	AstraZeneca社	ICOSアンタゴニスト	T細胞の活性化に関与しているICOSの働きを阻害し、免 疫反応を抑制する	
delgocitinib	LEO Pharma社 ロート製薬社	JAK阻害	免疫活性化シグナルに関与しているJAKを阻害し、過剰 な免疫反応を抑制する	
enarodustat	JW Pharmaceutical社 Salubris社	HIF-PH阻害	HIF-PHを阻害することにより、造血刺激ホルモンであ るエリスロポエチンの産生を促し、赤血球を増加させ る	

前回公表時 (2020年4月30日) からの変更点

- ・JTT-751 (鉄欠乏性貧血) : 「リオナ®錠250mg」の効能追加に係る承認事項一部変更承認申請 (2020年5月15日)
- ・JTE-052 (小児アトピー性皮膚炎) : 国内における製造販売承認申請等 (2020年5月29日)
- ・JTE-451 (自己免疫・アレルギー疾患/外用) : 新規臨床入り(国内Phase1)

用語の定義

用語	定義
調整後営業利益	調整後営業利益 = 営業利益 + 買収に伴い生じた無形資産に係る償却費 + 調整項目（収益及び費用）* *調整項目（収益及び費用）= のれんの減損損失 ± リストラクチャリング収益及び費用等
為替一定ベース調整後営業利益（全社）	海外たばこ事業における四半期の調整後営業利益を前年同期の現地通貨対ドル、ドル対円の為替レートをを用いて換算/算出することにより、為替影響を除いた指標
Reduced-Risk Products (RRP)	喫煙に伴う健康リスクを低減させる可能性のある製品
GFB (Global Flagship Brands)	Winston、Camel、MEVIUS、LD の 4 ブランド
総販売数量（海外たばこ事業）	水たばこ/E-Vapor 製品/製造受託を除き、Fine Cut/Cigar/Pipe/Snus/Kretek/加熱式たばこを含む
自社たばこ製品売上収益（海外たばこ事業）	物流事業/製造受託等を除き、水たばこ/RRP の売上を含む
為替一定ドルベース 自社たばこ製品売上収益/ 調整後営業利益 （海外たばこ事業）	四半期の自社たばこ製品売上収益/調整後営業利益を前年同期の現地通貨対ドルの為替レートをを用いて換算/算出することにより、為替影響を除いた指標
たばこ総需要（国内たばこ事業）	日本市場全体におけるたばこ製品の本数ベースの市場規模（自社推計） RRP やリトルシガー等を含む。
紙巻総需要（国内たばこ事業）	日本市場全体における紙巻たばこの本数ベースの市場規模（自社推計） リトルシガーを含み、RRP 等を含まない。
紙巻販売数量（国内たばこ事業）	国内免税販売及び中国事業の販売分を除く、JT 紙巻たばこの販売本数 リトルシガーを含み、RRP 等を含まない。
RRP 販売数量（国内たばこ事業）	国内免税販売分を除く、JT の RRP の販売本数（1 パック当たり紙巻たばこ 20 本として換算） デバイス/関連アクセサリ等は含まない
リトルシガー（国内たばこ事業）	たばこ葉を原料とする巻紙を使い、紙巻たばこと同様の形態に巻き上げた製品。 たばこ事業法上「葉巻たばこ」に分類される。
自社たばこ製品売上収益（国内たばこ事業）	輸入たばこ配送手数料収益等を除き、国内免税販売/中国事業/RRP、リトルシガー関連の売上を含む
RRP 関連売上収益（国内たばこ事業）	自社たばこ製品売上収益の内訳としての、デバイス/関連アクセサリ等を含む RRP の売上（国内免税販売分の売上を含む）
手元流動性	手元流動性 = 現預金 + 短期保有の有価証券 + 現金
有利子負債	有利子負債 短期借入金 + コマーシャルペーパー + 長期借入金 + 社債
FCF	FCF = 営業活動 CF + 投資活動 CF ただし以下の項目を除外 - 営業活動 CF から、リース取引から生じる減価償却費、利息及び配当金の受取額とその税額影響、リース取引以外から生じる利息の支払額とその税額影響 - 投資活動 CF から、事業投資以外に係る、投資の取得による支出、投資の売却及び償還による収入、定期預金の預入による支出、定期預金の払出による収入、その他

将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予期しています」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- （１）喫煙に関する健康上の懸念の増大
- （２）たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- （３）国内外の訴訟の動向
- （４）国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- （５）国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- （６）市場における他社との競争激化、お客様の嗜好・ニーズの変化及び需要の減少
- （７）買収やビジネスの多角化に伴う影響
- （８）国内外の経済状況
- （９）為替変動及び原材料費の変動
- （１０）自然災害及び不測の事態等

お問い合わせ先

日本たばこ産業株式会社 IR 広報部
東京都港区虎ノ門 2-2-1 JT ビル

投資家の皆様はこちら：jt.ir@jt.com

メディアの皆様はこちら：jt-kouhou@jt.com